

派遣労働無期限に

労政審部会が建議 労働者委員は反対

労働政策審議会の労働力需給制度部会は29日、労働者派遣をどんな業務でも無期限に使えるようにする報告書を、労働者委員の反対を押し切ってとりまとめ、厚労相に建議として提出しました。使い捨て自由の派遣労働を固定化し、正社員から派遣への置き換えに拍車をかけるもので、労働者・国民の厳しい批判は避けられません。意見書には労働側の反対意見が付けられる異例の形となりました。

これまでは通訳など「専門26業務」をのぞいて派遣を認める期間は原則1年、延長しても3年が上限でした。

報告書は、どんな業務でも、3年ごとに人を代えれば、労働組合などの意見を聞くだけで無期限に派遣を認めるようにします。派遣労働者を「無期雇用」にしておけば、3年で交代させる必要はないことにします。その場合も、派遣先との契約が切れれば解雇が可能になるため、「無期雇用」は名ばかりです。

派遣労働者の処遇については労働側が「均等待遇」を求めています。賃金差別などが温存されます。

一昨年に原則禁止された「日雇い派遣」についても、収入条件を緩和するなど拡大させるよう求め

ています。

この日の審議会で労働者側は「労働者保護の後退を招く」（新谷信幸・連合総合労働局長）として反対。労働組合などから意見を聞くだけで簡単に派遣を継続できることは、「期間制限を形骸化させ、常態的間接雇用法制になる」と批判しました。

2014年1月30日(木)

派遣労働はどうなる

	現在	報告書
業務区分	専門26業務と一般業務	業務区分は廃止
派遣期間	原則1年、最長3年 (専門業務は制限なし)	事実上撤廃(上限3年、 何度でも継続可能)
労働条件	均等待遇に配慮	均等待遇原則は変わらず
日雇い派遣	原則禁止	収入要件を引き下げ

年金削減不服審査請求 10万人突破 年金者組合 わずか1カ月半

年金切り下げは不当だと全日本年金者組合がとりくむ行政不服審査請求の請求人が26日、10万人を突破しました。安倍政権は昨年10月分から年金を1%削減、2015年4月までに3段階で計2.5%引き下げようとしています。

こうした動きに抗議して、同組合は昨年6月の大会で大規模な不服審査請求運動をすすめる方針を決定。同12月の中央委員会で10万人規模の運動を承認し、わずか1カ月半で請求人が10万1348人に達しました。

集めた請求書は、31日に全国いっせいに厚生労働省や年金事務所、地方厚生局などに提出し、集会やデモで広くアピールします。

富田浩康委員長は「運動をすすめるなかで、高齢者が本当に怒っていることを痛感しました。10万人という請求にこめられた怒りを、今の政府はしっかりと受け止めてほしい。私たちはここで終わりにせず、引き続き請求を呼びかけます」と話しています。

2014年1月28日(火)

ドイツ年金改革を提案 67歳↓63歳支給 母親年金・ 病気退職時の増額

ドイツのナールレス労働社会相は1月2

9日、連邦議会で労働社会政策の施政方針演説を行い、年金支給年齢をこれまでの67歳から63歳に引き下げることを含む年金改革を正式提案しました。欧州各国では緊縮財政のあり、年金支給年齢引き上げを実施する国が続出しており、大國ドイツの受給年齢引き下げ改革は波紋を広げそうです。(片岡正明)

ドイツでは2007年に、年金支給年齢を65歳から段階的に67歳に引き上げる法案が成立しましたが、労組や社会民主党(SPD)、左翼党などが反対を主張し続け、昨年の総選挙でも社会的公正をめぐる争点の一つになっていました。

選挙後にメルケル首相率いる与党のキリスト教民主・社会同盟(CDU・CSU)とSPDの協議で連立協定に盛り込まれていたもので、担当するナールレス氏もSPD出身です。

受給年齢の引き下げでは、45年の年金保険料納付期間があれば、63歳から年金を受け取れるようになります。その際、5年までの失業期間は納付期間に換算。その結果、45年納付期間がない場合でも65歳から年金受給が可能となり、18歳から働く人の多数が63歳から年金をもらえるようになります。

また、旧西独地域では、保育園が不足し、母親が一定期間、休職せざるを得ない状況があるのを反映し、母親年金を設定。子どもの養育期間2年間分を納付期間に加えます。養育した子ども1人につき、旧西独地域で月額28・14ユーロ(約3940円)、旧東独地域で25・74ユーロ(約3604円)を年金に上乘せします。

さらに、病気による早期退職時の年金額を平均で月額45ユーロ増額することなどが盛り込まれています。連邦議会で採択されれば今年7月から実施される予定です。

財政的には好転しているドイツですが、年金改革にかかる予算は、2030年までに1600億ユーロ(約22兆4000億円)。ハンブルク経済研究所(HWWI)は、少子高齢化が進む

ドイツで将来の世代に負担をかけるものだと批判しており、年金改革案はなお論議を呼んでいます。

2014年2月2日(日)

2014, 2, 4 NO, 643

日本共産党

磯城郡議員団だより

芝 和也 Eメール info@k-shiba.jp
川西町結崎 862-7 0745-43-2415
吉田 容工 Eメール katunori_yosida@ybb.ne.jp
田原本町大木 113-5 090-5257-4446
森 良子 Eメール qfndg008@ybb.ne.jp
田原本町鍵 281-1 0744-33-8570
(事務局) 池田年夫 Eメール uvkk87386@zeus.eonet.ne.jp
三宅町屏風 440-5 0745-43-2661

新しい視点 展望しめす
しんぶん 赤旗
日刊紙 毎月3,400円
日曜版 毎月800円

町長日記 「中学校給食」に怒りの声

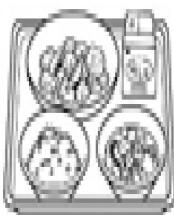
町広報二月号の町長日記を読まれた方から「町長は恵まれた家庭を自慢しているのか！奥さんが入院したとき、僕の家では本当に困ったんや！」という怒りの声が届きました。

中学生の時期は、非常に発育が旺盛な時期で第二発育増強期と言われてます。学校給食法には、「学校給食が児童及び生徒の心身の健全な発達に資するもの」「児童及び生徒の食に関する正しい理解と適切な判断力を養う上で重要な役割を果たすもの」で「義務教育諸学校の設置者は、義務教

育諸学校において学校給食が実施されるように努めなければならぬ」と明記しています。

町長のおっしゃるような「弁当も親の工夫次第で問題を克服できる」「勉強、運動、寝までが学校にお任せの昨今、食まで学校任せでいいのか？」という問題提起自体が、教育としての学校給食をご理解無いことの証です。成人病にならない食事を

田原本議会
議員
吉田容工



科学を活かそう！

四日は立春ですね。季節の進展を肌で感じるには、まだしばらく時間を要しますが、日照時間もどんどん長くなっていますし、春は着実に近づいていますね。

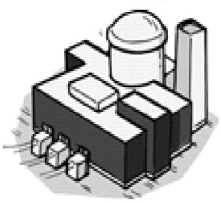
まあ、こうした暦を含め自然の仕組みを熟知しているからこそ、先が見通せ何事も指し示す事が出来るんでしょうが、これが、どないなるか掴んでいなければ、様々な面で行き詰まる事でしょう。

もうすぐ、発生から三年が経過する福島原発の事故ですが、未だ収束の見通しは立っていませんし、放射線がどこでどう言う具合に漏れているのか、その根本も掌握できていない状況です。

結局、この問題は、推進する皆さんが、人類が未掌握の領域で有る事を百も承知で、事故は起きないと自らに言い聞かせ、安全神話を振りまいた結果で有りまして、その、愚かさを事故の現実を持つて認識出来たわけですか

ら、原子力に頼らないエネルギー政策に転換しようと言う世論が全体を覆って来ているのが実情です。にも関わらず、安倍晋三首相は原発の再開に引きりですが、誰の目にも安全な原発など無い事はつきりしていますから、脱原発を！の声は衰えません。科学を活かしてエネルギー転換を実現させましょう。

川西町議会
議員
芝 和也



インフラ補修対策

先日、NPO建設政策研究所関西支所の蚊口哲也氏の「どうするインフラの補修対策・現状と問題点」という講演を聞いてきました。

4月から消費税が8%に引き上げられ、安倍首相は社会保障に全部回すと言っています。回されず浮いた部分を公共工事や社会資本の整備に回すという事が平成25年度補正予算にも表れていると蚊口講師は指摘されています。

「講習会・研修会の実施43%」。都道府県でも「財政的支援95%」「講習会・研修会の実施74%」と国の支援を求めていることが明らかに。この様に市町村が財政的支援を求めているのに、国土交通省・近畿地方整備局の平成26年度予算概算要求の基本方針では、予算にメリハリをつけると言いつつ「南海トラフ巨大地震への備えをはじめとした防災・減災対策や社会資本の老朽化対策、および国際競争力を高めるための阪神港や近畿圏の道路の環状道路の整備等、必要な社会資本整備を効果的に進めてまいります」

池田年夫



戦争は嫌だ！

先日、私は三宅町の友人（70代半ばの男性）から電話があり、「とても良い本に出会った！是非、読んで欲しい！」との事。すぐ自宅に伺いまして。須田稔、桐田勝子著の腹の底まで憲法でいこう！という本で憲法9条・メッセージ・プロジェクトが扱っているのが、後はもう在庫不足らしい。

その川の対岸も火の海で人々は堤防に逃げて来ていて、川を挟んで赤い炎をバックに人々のシルエツトだけが浮かび上がっていた。そして帰り道には焼け死んだ沢山の死体がきちんと並べられていた。こんな切ない悲しい光景は決して忘れられないと彼は言う。

この日、友人は珍しく幼い頃の思い出を語ってくれた。「俺は戦争を体験して来たからなく。戦争だけは絶対にしたらアカン！」彼は小学校の低学年まで東京に住んでいた。空襲で、住家一帯が焼かれ、火の海となったのでみんなと一緒に川の堤防に駆け上がったが、

戦争の知らない私だが今、特定秘密保護法を成立させ、憲法をも変えようとしている自民党はあまりにも危険過ぎる。今こそくい止めなければ。小野今氏の「地星人の絵日記抄」の中の句「武器持てば 殺人鬼と化す 歴史あり 素手で生き抜く世こそ 尊し」

田原本議会
議員
森 良子

